



# 世界一の外貨準備高を持つ中国 が 世界中から金借りまくる不思議。

中国は世界最大の外貨準備金を持って  
いるといわれています。

その額は2014年末で約3兆8千億  
ドル（400兆円以上）とされています。

しかし、外貨準備の内訳は公開されて  
いません。

中国の外貨準備の公表金額は大幅に水  
増しされている、といわれています。な  
ぜなら、中国の外貨準備高は2000年代  
に入ってから急増しているからです。

中国は人民元を「管理通貨」として為  
替レートをコントロールしています。いわ  
ば「為替操作」をしているわけです。

2000年代の中国経済は、製造業を中  
心とした莫大な貿易黒字による急成長を  
もたらしました。

これは人民元を為替操作して割安な為  
替レートに抑えていたからです。

つまり、共産主義国家の中国は貿易黒  
字を稼ぐ為に、中国人民銀行《(国営企業)  
＝(中国政府)》は莫大な量の元売り・ド  
ル買いの為替介入を行い、人民元の為替

レートを割安に保ってきたのです。

得をすることなら何でもする『厚黒学』  
を実践する中国人らしい「ズル」です。

この為替介入で中国が手に入れたアメ  
リカドルが「外貨準備金」です。

中国は今まで、

■アメリカドルの多くはアメリカ国債とし  
て保有。

■そのほかはユーロや金（ゴールド）な  
どの金融資産で保有している

と言ってきました。

しかし、アメリカの研究機関GFI（グ  
ローバル・フィナンシャル・インテグリ  
ティ）の調査によると中国の外貨準備  
は大幅に偽装されている可能性が高いと  
警告しています。

GFIによると、中国の外貨準備で確  
実に存在していると計算できるのが米国  
債保有分（1.2兆ドル）であり、不正に  
国外へと流出した外貨準備が最低でも  
1兆ドル以上存在するだろう、という衝  
撃のレポートを発表しています。つまり  
中国政府の公表額は、少なくとも3割は

減少しているはずだ、という推測です。

中国の「外貨準備高」は急激な元安を防ぐため、人民銀行が「元買いドル売り」の為替介入を繰り返していますが、中国から海外への“資本逃避”も急増しており、外貨準備の取り崩しに歯止めがかからない状態。

## 外貨準備高は国の「為替介入の力」を示す。

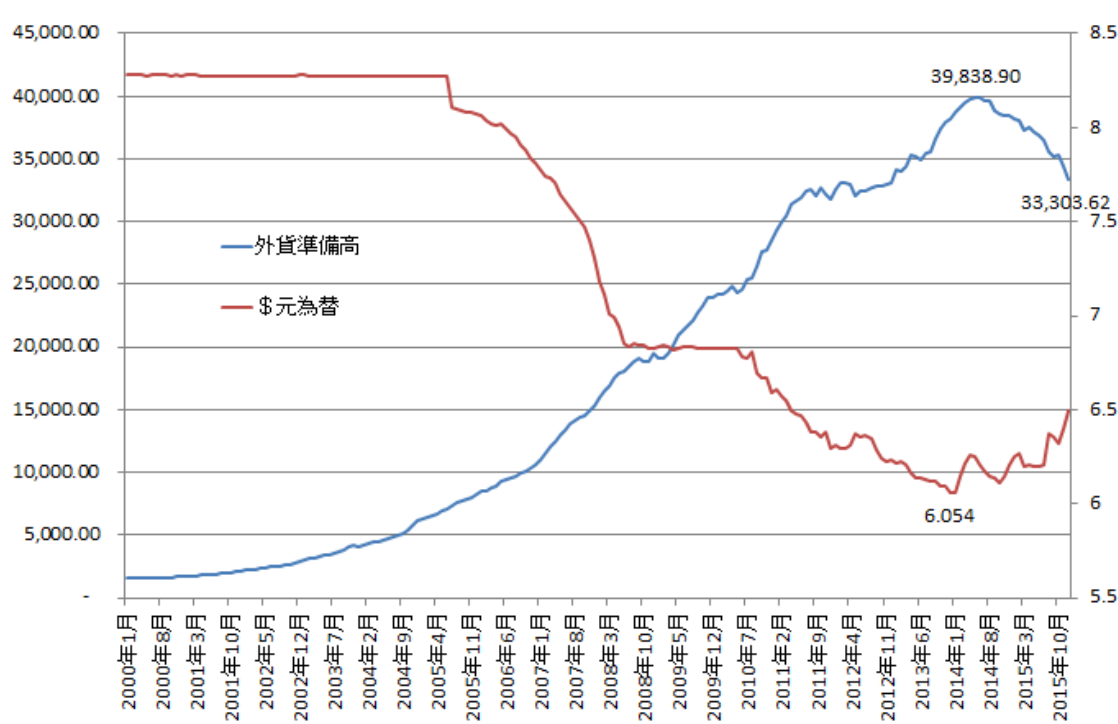
外貨準備高が3兆ドル台を割り込めば、中国経済へ不安が強まります。

「元安圧力」が強まり、嫌気がさした投資家は資本流出に拍車をかけます。

中国の外貨準備高は、世界一だった日

本を2006年に抜き、2014年6月にピークの3兆9932億ドルを記録した後、2年半足らずで25%近くも減りました。

外貨準備高減少の背景には、前年割れが続く輸出の不振や、外国企業の対中直接投資が減速。外貨獲得力が弱まった。



中国の外貨準備高と人民元とドルの為替推移

## 統計が大幅に偽装されていれば「元安」に向かう。

「シャドールンキング問題」で「不動産バブル」が崩壊し、中国経済に急ブレーキが掛かれば、一気に経済が破綻するリスクもあり、そうなれば人民元は、暴落するしかありません。

偽装分を除いた中国経済の実体に合わせれば「人民元はもっと安い」はずだからです。

そして人民元の切り下げは「元売りドル買い」の為替介入を増やす事を意味します。

**■中国経済が悪化して外貨準備高がなくなったので、世界中の銀行から外貨を借りまくっている、というのが実態、のようですね。**

「インドネシアの高速鉄道建設」「AIIB（アジアインフラ投資銀行）」「過剰生産の鉄鋼」「職のない農民工2億4000万人」。

イギリスのAIIB参加でヨーロッパの皆さんがAIIB参加になだれ込み「日本はこのバスに乗り遅れるな」と騒いでいた権威ある経済新聞社があったが、日本は本当にAIIBに乗り遅れてよかった。韓国がどんな目にあったかよく見るとよい。イギリスの首相が『パナマ文書』でどんな目にあったか、よく見るべきだ。

世界から資金を低利で調達するには「日本」と「アメリカ」抜きには国際的に信用がないので無理な話だ。中国は共産主義の国であることを忘れていませんか？

中国とイギリス・ドイツ程度では土台無理な相談なのです。

